



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.35(2021.9) 本号の編集担当者 森田浩之

【支部情報】

予定

1) 『第 10 回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2021 年 11 月 14 日(日)

2) 『中部ブロックポートフォリオ発表会 * 2022』

2022 年 3 月 5 日(土)

●三重県

【報告】

1) 総合診療 虎の穴 巻之九 開催

日時:2021 年 6 月 19 日(金) 14:00~16:30

会場:Zoom によるオンラインセミナー

テーマ:Hospitalist 最前線 2021

演者・演目:

栃木県からの挑戦! ケースで学ぶ総合診療(矢吹拓, 国立病院機構 栃木医療センター)

総合診療の診断術 ~ER での発熱~ (小野亮介, 亀山市立医療センター)

2) 総合診療 虎の穴 巻之十 開催

日時:2021 年 8 月 5 日(木) 19:00~20:15

会場:Zoom によるオンラインセミナー

テーマ:総合診療的 終末期診療

演者・演目:

「DNAR だから」「末期だから」と思考停止している医者につける薬のような話(森 洋平, みたき総合病院)

3) 第 14 回プライマリ・ケアエキスパートナース研修会 開催

日時:2021 年 8 月 6 日(金) 17:30~19:00

場所:Zoom によるオンラインセミナー

内容:講演

「コロナと共生する新たな地域医療のあり方」

三重大学医学部総合診療部 教授 山本憲彦氏

県立一志病院 病院長 丸山貴也氏

今回は、三重大学総合診療部部長でプライマリ・ケアセンター長でもある山本憲彦先生と一志病院の病院長

丸山貴也先生に「コロナと共生する新たな地域医療のあり方」をテーマに講演いただきました。コロナの感染対策として、オンラインでの参加が中心となりましたが、約 60 名の参加がありました。

折しもコロナの第 5 波が猛威を振るい始めたところで、コロナの治療についてなど大変参考になるお話でした。

また、思うように地域での活動ができない中で、これからの地域医療をどのように考え、多職種でどう連携するかを考えるきっかけとなりました。



【今後の予定】

1) 総合診療 虎の穴 卷之十一 開催予定

日時:2021年10月7日(木)19:00~

会場:Zoomによるオンラインセミナー

演者:三重大学医学部附属病院 総合診療部 教授 山本憲彦

2) 第1回総合診療セミナー虎の穴・外伝 開催予定

「誰もが出会うリウマチ・膠原病を治療する ~ステロイドと免疫抑制薬の使い方~」

日時:2021年10月25日(月)19:00~20:20 オンライン開催

講師:中島亜矢子 先生 (三重大学医学部附属病院 リウマチ・膠原病センター教授)

対象:地域医療、プライマリ・ケアに関わる医師、専攻医 (医学生、研修医も参加を大歓迎です)

ジェネラリストの日常診療では、炎症反応高値、関節痛等でリウマチ・膠原病を疑うのに診断がつかないこと、また、リウマチ性多発筋痛症や高齢発症関節リウマチなどの治療を行う場面も少なくありません。

本セミナーでは、リウマチ膠原病性疾患をどう診断し、ステロイドやメトトレキサートをどう使うのか等、実践のポイントについてご講義いただきます。地域で、より質の高い診療の実践を目指すみなさまのご参加をお待ちしています。

※総合診療セミナー虎の穴・外伝は、総合診療に必要な各専門領域の知識・スキルを学ぶ学習会です。

●静岡県

【報告】

1) 『患者中心の医療の方法第3版』オンライン輪読会

◇第3回◇「第1の構成要素：健康、疾患、病気の経験を探る」

日時：2021年6月11日20:30~21:30

◇第4回◇「第2の構成要素：全人的に理解する 第1節 - 個人と家族」

日時：2021年6月25日20:30~21:30

◇第5回◇「第2の構成要素：全人的に理解する 第2節 - コンテキスト」

日時：2021年7月9日20:30~21:30

◇第6回◇「第3の構成要素：共通の理解基盤を見出す」

日時：2021年7月30日20:30~21:30

◇第7回◇「第4の構成要素：患者-医師関係を強化する」

日時：2021年8月13日20:30~21:30

◇第8回◇「患者中心の医療の方法の学習と指導」

日時：2021年8月27日 20:30～21:30

開催方法：ZOOM

今年度から静岡家庭医養成プログラム (SFM) / 浜松医科大学総合診療専門研修プログラムにて、『患者中心の医療の方法第3版』オンライン輪読会を開催しており、次回第9回となります。

医学生や外部参加の先生方も多く、学びと交流の場になっております。

引き続き参加者を募っており、途中参加大歓迎です！

ご興味のある方は、以下 URL よりお申込みください。

<https://forms.gle/vt1PcnNbwWTCDwhp8>

【今後の予定】

第9回 9章 2021/9/10 20:30～21:30

第10回 10章 2021/9/24 20:30～21:30

第11回 11章 2021/10/8 20:30～21:30

第12回 12章 2021/10/22 20:30～21:30

第13回 13+14章 2021/11/12 20:30～21:30

第14回 15章 2021/11/26 20:30～21:30

第15回 16章 2021/12/10 20:30～21:30

第16回 17章 2021/12/17 20:30～21:30

第17回 18章 2022/1/14 20:30～21:30

第18回 お疲れ様会 2022/1/28 20:30～21:30

2) SFM の公式LINE アカウントができました！

勉強会の様子や活動報告など定期的に配信しております。

ご興味のある方はご登録をお願いいたします。



●岐阜県

【報告】

1) 総合診療スキルアッププログラム学習会 2021

日時：2021年4月以降不定期開催

場所：Microsoft Teams でオンライン開催

講師：総合診療指導医

内容：症例に基づく臨床推論、画像診断、身体診察

参加者：各回 4～8 名の医学生

【今後の予定】

1) 『第46回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時：2021年9月3日（金）18:30～20:10

場所：Web 開催

内容：1) 症例ディスカッション 2 例

2) ミニレクチャー 木沢記念病院泌尿器科 部長 横井繁明先生

「前立腺肥大症の外科的治療について」

3) 特別講演 岐阜大学医学部附属病院循環器内科 講師 山田好久先生

「新しい高血圧・心不全治療の考え方」

2) 『第 4 回日本プライマリ・ケア連合学会岐阜県支部会』

日時：2022 年 2 月 19 日 (土) 14:00~16:00

場所：Web 開催

内容：検討中

3) 『第 1 回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオン (胸部)』

日時：2021 年 11 月 20 日 (土) 13:00~15:30

場所：総合在宅医療クリニック

内容：4 回のシリーズによる部位別エコー検査のスキルアップ講座。講義とハンズオンを組み合わせで行う。第 1 回は胸部を行う。定員 16 名。

●富山県

【報告】

1) とむじぇり勉強会+オンライン懇親会

日程：毎月第 2 月曜日 Zoom での開催

専攻医によるポートフォリオの領域に関するレクチャーと、ポートフォリオ発表の 2 部構成。司会進行や書記などに関して専攻医で振り分け、分担し、協力しあって運営しています。8 月度より「タネ症例の部屋」という、特に 1-2 年次の専攻医を対象にした、PF になりそうな経験を自由に討論できる場を作成しています。

また、8 月の勉強会の後には富山県内の総合診療専攻医・指導医でオンライン懇親会を行いました。業務の悩みやプライベートの相談など、普段の勉強会では話題にならないことをざっくばらんに話す機会となりました。今後も定期的に開催してまいります、大勢で机を囲んでお酒を飲める日が待ち遠しいですね。

2) 富山大学総合診療科後期研修プログラム説明会

8 月 26 日に初期研修医向けの後期プログラム説明会がオンライン+現地参加のハイブリッド方式で開催されました。3 名の初期研修医の先生にご参加いただき、各施設の専攻医や指導医から話を聞いたり直接質問したりしながら和気藹々と会が進んでいきました。来年度、何人の新専攻医がプログラムに入ってくれるかとてもワクワクしています。

3) 慢性疾患勉強会

2021 年度から「慢性疾患勉強会」という月 1 回の勉強会を開催しています。プライマリ・ケア医が外来や病棟で出会う頻度の多い疾患について、専攻医が主体となり学ぶ場所を作りたい、ということが始まりです。

第 2 回 (5 月 31 日) のテーマは「慢性心不全の外来治療」で、心不全安定期の管理の各観点(①心不全総論、②心不全 Stage B-C における薬物治療の選択、③外来での生活指導や専門医コンサルトのタイミング)について 3 人の専攻医の先生が話してくれました。総合診療医として知っておくべき心エコー所見や BNP と NTpro-BNP の使い分け、高 K 血症が認められた際に MRA をどうするか、紹介のタイミングは…? などなど、明日からの実臨床にもすぐに応用出来る内容ばかりで、大変有意義な勉強会だったと思います。

第 3 回 (6 月 28 日) のテーマは「健診異常のみかた」で、①肺結節のフォローのしかた ②腫瘍マーカー高値のみかた を 2 人の専攻医の先生が話してくれました。肺結節のフォローに関しては UpToDate と日本 CT 検診学会で基

準が微妙に違うということも分かりました。また、健診ではそもそも取るべきではないとされる腫瘍マーカーですが、こちらはフォローアップの明確なガイドラインも無いわけで、先輩方の知見・体験談がとても勉強になりました。第4回(7月26日)のテーマは『ウイルス性肝炎』で、日常の診療業務で遭遇機会の多いB型・C型肝炎、キャリアの患者に対して総合診療医として病態把握のための精査、フォロー、専門医への紹介のタイミングに関して話をいただきました。前半は診断や治療までの流れを日本肝臓学会のガイドラインなどを参考に説明していただき、後半は、それぞれの検査の持つ意味を理解しながら、専攻医の先生が経験した症例をもとに、対応法や疑問点などに関して専攻医・指導医でディスカッションが行われました。今後も毎月最終月曜日20時から開催していく予定です。年間通じて継続していくことを目標に楽しく学んでいきたいと思えます。

4) 臨床研究に関するオンライン勉強会

今年度よりプログラムの専攻医・若手指導医対象のオンライン臨床研究勉強会が始動しました！ 第1回目・第2回目では共に講師に横浜市立大学/浜松医科大学の金子惇先生をお招きし、熱いスタートダッシュとなりました。

第1回目は「一緒に始めよう！現場からの臨床研究」と題し、プライマリ・ケア領域の研究の意義、金子先生ご自身の研究の軌跡、ネットワークづくり、また実際に多忙な毎日の中で続けていくコツを教えてくださいました。数多くの研究をご紹介いただき圧倒されそうになったところで、Reject時のご経験やメンターの先生との連携の重要性について具体的に教えてくださいいただき、励まされた参加者も多かったと思えます。

第2回目は「量的研究」をテーマに、新たにグループワークを交えて開催しました。グループワークの題材には、事前に金子先生のこれまでの研究テーマの中から興味のある分野をアンケートで選ばせていただき「訪問診療」が題材となりました。難しいイメージもある量的研究ですが、こんな臨床疑問が湧いたら、どうPECOに落とし込むか？さらに研究デザインをどうするか？みんなでディスカッションした後で知識面を解説いただくことで、「研究を組み立てる」イメージが湧いてきました。

1・2回目を通して、基礎知識については金子先生のオンライン講義を事前学習した上で、当日プレテスト・ポストテストも行うという試みを行っています。まだ試行錯誤の段階ですが、富山の臨床研究がさらに盛り上がることを楽しみに、みんなで引き続き学んでいきたいと思えます！

次回は10月に質的研究についてお話いただく予定です！

とやま総合診療プログラムでは、今後も、大学のリサーチ・ミーティングや各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思えます。また次回のご報告もお楽しみにお待ちしております！



●福井県

【報告】

1) 総合診療・総合内科センター Choi+開催

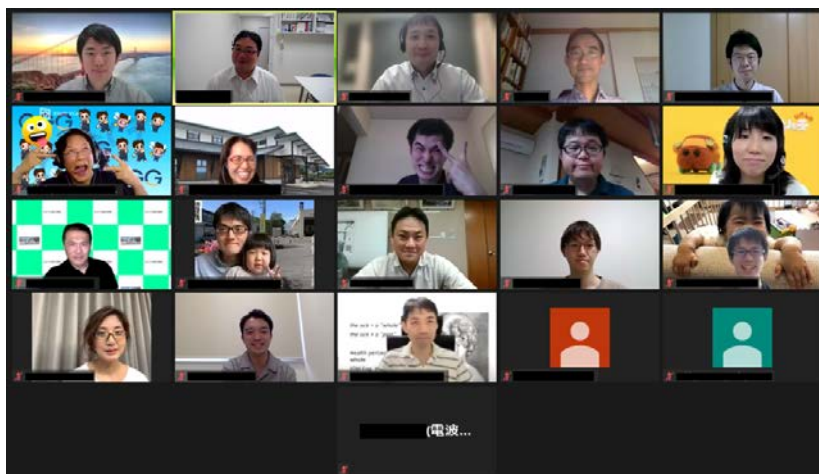
医学生の中から総合診療医、総合内科医に興味を持っていただくための事業として、今年2月より本大学の医学生1-6年生を対象に講義と実習型を組み合わせたChoi+という勉強会の開催をしています。年に4回の開催を予定しています。コロナ禍に配慮し感染対策はもちろん、人数制限を行った上での開催です。Choi+は「ちょいたす」と読み、普段の勉強や臨床実習に“ちょいたして”、実力を身につけよう！という意味を持たせています。

2021年6月5日は「院内急変対応」を中心に学びました。本大学総合診療部 林 寛之先生による講義の後、実際に模型を利用しながら疑似症例を通して学びました。チーム医療の大切さや急変対応について、非常に勉強になったと大変好評でした。引き続き、様々なテーマで開催を継続していく予定です。(石本 貴美)



2) 2021年度 第1回 福井県家庭医療ポートフォリオ発表会

2021年6月13日(日)、2021年度第1回福井県家庭医療ポートフォリオ発表会がZoomを用いオンラインで開催されました。浅井東診療所の松井善典先生をお招きし、「家庭医療診療所の成長の軌跡とこれからの時代の役割」について御講演をいただきました。診療所の立ち上げと発展におけるポイント、マネジメントのpitfallsなど、試行錯誤のなかで困難を乗り越えていく姿を提示していただき、言語化することが難しい内容を分かりやすく解説していただきました。その後の専攻医による発表でも、Zoomのチャット機能を併用したフィードバックが行われ、貴重なコメントをいただくことができました。COVID-19流行のため、オンラインでの発表でしたが、参考資料や文献などもリアルタイムにシェアでき、またno blameな雰囲気の中、フィードバックができたことと好評でした。松井先生はじめ指導医の先生方、ありがとうございました。(武藤 理)



3) 2021 年度 第 1 回 福井県家庭医療ポータルフォーリオ発表会 前日企画 学生・研修医向け

外来研修で実践したい家庭医学的アプローチ tips&pitfalls ご講演

福井県家庭医療ポータルフォーリオ発表会の前日企画として6月12日(土)17時~19時に、浅井東診療所 松井善典先生先生を特別ゲストにお招きして、「外来研修で実践したい家庭医学的アプローチ tips&pitfalls」という題目で勉強会を開催いたしました。2020年度より初期臨床研修において「外来研修」が必修化したことをふまえ、外来研修において全ての研修医が参考にできる家庭医学的アプローチを学ぶ機会がほしいとの思いから企画に至りましたが、全国から医学生、研修医の方のみならず、指導医層まで総勢50名のお申し込みいただくことができました。当日も40名を超える参加者が、松井先生の北海道での初期研修医~フェローシップを経て、現在滋賀県長浜市の診療所で所長、指導医として実践されてきたことによる生粋の家庭医の外来診療の多彩なtips&pitfallsを拝聴することができました。学生・研修医だけでなく私たち専攻医や指導医も自分の診療を振り返ったり、明日からの診療に生かそうというモチベーションを駆り立てられました。松井先生お忙しい中ありがとうございました。

(宇戸谷 翔太)



フレイル/サルコペニア検診 (FS検診)のお知らせ

全ては寝たきりと入院防止のため

フレイル(虚弱)は加齢により心と体が衰えた状態を指します。その大きな原因はサルコペニア(=体の筋肉が減ること)にあります。サルコペニアは日々の努力で改善することができます。治療の入り口はサルコペニアを見つけることから。FS検診ではサルコペニアの無料検診を行っています。

【日程】2021年3月10日(水)、24日(水)

【時間】いずれも午後3時から5時

【場所】永平寺町立在宅訪問診療所(予約:0776-61-7500)

【対象】70歳以上の高齢者(各日20名まで)

【内容】歩行速度・握力測定→筋肉量測定→結果説明



近年の研究で、サルコペニアのある高齢者は寝たきりになりやすく、入院が多く、病気が治りにくいことが分かっています。

永平寺町立在宅訪問診療所・永平寺町

4) 2020 年度フレイルサルコペニア健診@永平寺町立在宅訪問診療所

昨年度に引き続き、フレイルサルコペニア健診を2021年3月10日と24日の2日間、永平寺町立在宅訪問診療所にて行いました。訪問診療業務と並行で行ったため、医学生さん、初期研修医の先生方にも多くご協力いただき、大変助かりました。今年度初めての方もいれば、昨年度から引き続き受けてくださった方もいらっしゃいましたが、昨年の結果をふまえて、コロナ禍にもかかわらずトレーニングに励まれ、筋力、筋肉量ともに改善された方もいらっしゃいました。日頃の取り組みが如実に結果に現れることが実感できました。今年度もそんな地域の皆さんを応援するべく、引き続き行っていきたいと考えております。

【今後の予定】

1) 2021年9月11日 第3回 Choi* 開催予定

2) 2021年12月18~19日 第2回 福井県家庭医療ポータルフォーリオ発表会

テーマ 多疾患併存(マルチモビディティ)

特別講師 天理よろず相談所病院 石丸 裕康先生

<支部運営についての情報>

● 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

● プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

● 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp